

募集。

豊田市
農ライフ創生センター
農作物栽培技術研修のご案内

■農家になりたい人向け(2年間)

担い手づくりコース 21期生

新規就農科(四郷研修所) 8人×2班=16人
山間営農科(旭研修所) 6人

■野菜づくりをもっと楽しみたい人向け(1年間)

生きがいつくりコース 6期生

下山研修所10人

《申込み受付期間》

令和5年11月1日(水)

)

令和6年1月19日(金)

上記の期間内に受講申込書を農ライフ創生センターに提出してください。担い手づくりコースは、受付時に簡単な面接を行いますので、必ず本人が持参してください。

受講の可否は、2月16日(金)までに通知します。

始めませんか、農ライフ。



農作物栽培技術研修は、豊田市とあいち豊田農業協同組合の共同事業として実施しています。

農家になりたい人はこちら

担い手づくりコース21期生

「農地を持っていないけど農家になりたい」という人のための農家育成研修です。新規就農科（四郷研修所）と山間営農科（旭研修所）に分かれて、実技を中心に2年間、栽培技術を学んでいただきます。修了者には、市内の農地の借受けを支援します。

1 対象

市内で就農を希望する66歳以下（令和6年4月1日現在）の人

※健康で、2年間の研修を修了する意欲があること

2 研修期間

令和6年3月～令和8年2月（2年間）

※開講式は、令和6年2月28日（水）午前11時～正午に四郷研修所で開催予定

3 募集科目

新規就農科、山間営農科

4 研修場所、開催曜日、定員

科目等	研修場所	開催曜日	定員
新規就農科1班	四郷研修所	毎週水曜日	8人
新規就農科2班	四郷研修所	毎週金曜日	8人
山間営農科	旭研修所	毎週土曜日	6人
基礎教科	四郷研修所	月曜日（随時）	全員対象

※開催日数は、年間50日程度

※開催曜日は表のとおりだが、天候や作物の生育状況等により変更する場合あり。また、研修日とは別に当番制で水やり等の管理作業あり

※開催時間は、いずれも午前9時～正午。ただし、研修内容により長短あり

※定員を超える応募があった場合は、農地の借受けを希望する人を優先して選考

※山間営農科は、応募が5人未満の場合は実施しない

5 受講料

各科年額20,000円（教材費を含む）

※納入された受講料は返却しない

6 費用負担

研修で使用する農業機械、農具等は当センターのものを使用するが、被服類（作業着、長靴、手袋等）、一部の農具（草刈機の刃、収穫用はさみ）は、受講生で用意。また、研修2年目に行う実践栽培で使用する苗、肥料、資材等は受講生が購入する。 ※傷害保険は各自で加入

7 研修カリキュラム

教科	主な内容
基礎教科 (主に講義)	土壌分析と施肥設計、病害虫防除、作物の生理・生態、農業経営、営農計画等
専門教科 (主に実技)	土壌改良、施肥、畝立て、は種、定植、病害虫防除、収穫、販売実習、各種農業機械・農具の取扱い、農家・農業施設の見学等 【主な栽培作物】 四郷研修所：ナス、ピーマン、スイカ、ハクサイ、キャバツ、カボチャ、ダイコン、ニンジン、スイートコーン、タマネギ、イチジク、ヤマゴボウ等 旭研修所：四郷とほぼ共通だが、希望者には山間地域を想定した作物として、水稲（ミネアサヒ）、ジネンジョ、ブルーベリー等の栽培も指導する
実践栽培	研修2年目（3月～12月）に、一人当たり約200㎡の区画を割り振り、受講生自身が栽培計画を立て、作物の栽培を実施。7月と10月の判定会で各区画の管理状況や作物の生育状況等进行评估

8 修了要件

受講日数（8割以上）、実践栽培の評価等で判定

9 修了者への支援

- ① 市内農地の借受け支援
- ② 農業機械の貸出（有料。修了前に操作の習得状況を確認する検定を実施）

10 応募方法

令和5年11月1日（水）～令和6年1月19日（金）に、所定の受講申込書を農ライフ創生センターへ持参。受講申込書の受領に際して、簡単な面接を行うため必ず本人が来所すること。



専業農家から作物の育て方を教わる受講生（スイカの栽培）



女性や若者の受講生も増えている



各種の農業機械の操作を学ぶことができる

野菜づくりをもっと楽しみたい人はこちら

生きがいづくりコース6期生

初心者向けの旬の野菜づくりコースよりもレベルを上げて、農の世界を堪能していただく講座を下山研修所で開催します。一般的な野菜のほか、ジネンジョや原木シイタケなど下山地区ならではの作物も扱います。

1 対象

県内在住の70歳以下（令和6年4月1日現在）の人

2 研修期間

令和6年3月～令和7年2月（1年間） ※開講日は決定者へ連絡

3 研修場所

農ライフ創生センター下山研修所

4 定員

10人 ※応募が定員を超えた場合は抽選により受講者を決定。応募が5人未満の場合は実施しない

5 開催曜日、時間

毎週金曜日の午前9時～正午

※開催日数は年間50日程度。天候や作物の生育状況等により開催日・時間を変更する場合あり

6 受講料

年額20,000円（教材費を含む） ※納入された受講料は返却しない

7 費用負担

研修で使用する農業機械、農具等は当センターのものを使用するが、被服類（作業着、長靴、手袋等）、一部の農具（草刈機の刃等）は、受講生で用意。 ※傷害保険は各自で加入

8 研修カリキュラム

実技を主体に、各種農作物の基礎（土壌改良、施肥、畝立て、は種、定植、病害虫防除、収穫等）を学ぶ。

※主な栽培作物は、ナス、ミニトマト、ニンジン、ダイコン、ヤマゴボウ、ハクサイ、キャベツ、カボチャ、スイートコーン、タマネギ等のほか、ジネンジョ、コンニャク芋、原木シイタケ等、下山地区ならではの作物も栽培

9 応募方法

令和5年11月1日（水）～令和6年1月19日（金）に、所定の受講申込書を農ライフ創生センター四郷研修所へ提出（持参か郵送）。

農ライフ創生センター農作物栽培技術研修受講申込書

担い手づくりコース 21 期生

生きがいつくりコース 6 期生

※申し込むコースに してください。

豊田市長 様

記入日

令和

年

月

日

私は、農作物栽培技術研修を受講したいので、次のとおり申し込みます。

ふりがな		枠内に顔写真を貼付してください
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日 生まれ (歳)	
電話	自宅 - -	
	携帯 - -	
ファックス	自宅 - -	
メールアドレス		
住所	〒 -	
勤務先	現在 (勤続 年) 勤務日数：週 日 勤務時間： 時 分～ 時 分	
	最終 (勤続 年)	
希望科目 ※担い手づくり コースのみ	【第1希望】 1. 新規就農科1班 2. 新規就農科2班 3. 山間営農科	
	【第2希望】 1. 新規就農科1班 2. 新規就農科2班 3. 山間営農科	
受講を申し込んだ動機や研修に期待すること、農業について思うことなどを自由に書いてください。 また、受講に際して病気等で配慮が必要な場合は、その旨を書いてください。		
担い手づくりコース希望者は、裏面も記入してください。		

※当センターが取得した個人情報は、研修以外の目的には一切使用しません。

事務局記入欄	受付日：令和 年 月 日 ()	受付No.	受講No.
--------	------------------	-------	-------

以下、担い手づくりコース希望者のみ記入してください。

あなたは、現在農地を所有していますか（家族名義を含む）。いずれかに○を付けてください。

1. 所有している → 下表に記入してください
2. 所有していない

【所有農地】

所在地		はじめ	筆
面積合計	m ²	現況	田・畑・果樹園・遊休・その他
名義人	(本人との関係)		

あなたは、現在農地を借りていますか。いずれかに○を付けてください。

1. 借りている → 下表に記入してください
2. 借りていない

【借受農地】

所在地		はじめ	筆
面積合計	m ²	現況	田・畑・果樹園・遊休・その他
名義人	(本人との関係)		

あなたは、田畑などを耕作したことがありますか。いずれかに○を付けてください。また、1、2の場合は、a～cにも○を付けてください。

1. 現在、耕作している (a. 所有農地 b. 借受農地 c. 家庭菜園など)
2. 過去に耕作したことがある (a. 所有農地 b. 借受農地 c. 家庭菜園など)
3. 経験がない
4. その他 ()

あなたは、研修修了後に農地の借受けを希望しますか。いずれかに○を付けてください。

※借受農地は、豊田市内に限ります。

1. 希望する → 下表に記入してください
2. 希望しない

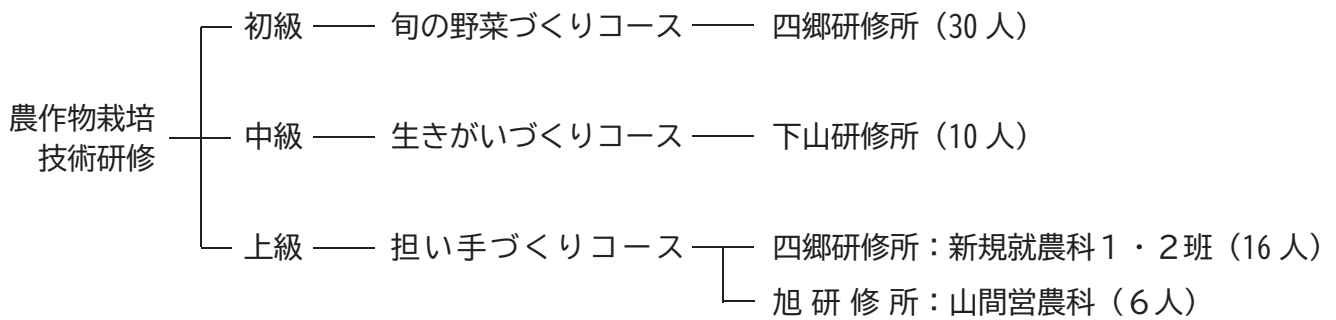
【借受希望農地】

希望の場所、地域（具体的に）			
借受面積	m ²	農地種類	畑・田・その他

あなたは、研修修了後にどんな営農スタイルを希望しますか。いずれかに○を付けてください。また、1～3の場合は、希望する年間農業所得も記入してください。

1. 自ら耕作し、主に市場に出荷する（希望する年間農業所得 万円程度）
2. 自ら耕作し、主に産直施設へ出荷したり、直売する（希望する年間農業所得 万円程度）
3. 自ら耕作し、作物を加工して販売する（希望する年間農業所得 万円程度）
4. 自ら耕作し、自家用で消費する
5. 援農ヘルパーとして農家を手伝う
6. その他 () 以上です。

農ライフ創生センター 農作物栽培技術研修の体系



※旬の野菜づくりコースは、気軽に野菜づくりを体験できる初心者向けの研修で、毎年2月に募集しています。

受講申込書の記入要領

【表面】

担い手づくりコース、生きがいづくりコース共通です。申し込むコースにチェックを入れてから、太枠内の項目について記入してください。

- 年齢**：令和6年4月1日現在の年齢を記入してください。
- 顔写真**：カラー、白黒は問いません。最近のもので、正面から撮影したものをお使いください。
- 勤務先**：現在欄は、勤務している場合又はこれから勤める予定のある場合に記入してください。現在、無職で勤める予定のない場合は最終欄に最終の勤務先を記入してください。
- 希望科目**：担い手づくりコースを希望する方のみ、希望する科に○を付けてください。可能であれば第2希望まで選んでください。
- 受講の動機等**：自由記載ですが、今後の研修事業の参考にさせていただきたいので、できる限り記載してください。スペースが足りない場合は、別紙を用意していただいても構いません。

【裏面】

担い手づくりコースの方のみです。忘れずに記入してください。

- 所有・借受農地**：所有又は借り受けている農地が複数の場合は、代表的な農地の所在地と、合計の筆数（箇所数）を書いてください。面積も合計です。現況は、農地が複数の場合、該当する者すべてに○を付けてください。名義人が複数の場合は、最も広い面積を所有している方の名前を書いてください。
- 借受希望農地**：豊田市内に限ります。町名又は地区名（猿投地区、下山地区等）を書いてください。農地種類は、野菜を作りたい場合は畑、稲作をやりたい場合は田を選んでください。
- 研修修了後の営農スタイル**：複数に○を付けても結構です。市場出荷は、JAの生産部会に加入して本格的に出荷する場合です。援農ヘルパーは、有償、無償を問わず、農家の手伝いをするものですが、援農先は決まっているわけではありません。希望する年間農業所得は、売上金額ではなく、必要経費を引いて手元に残る金額です。

※その他不明な点があれば、お気軽に農ライフ創生センターへお問い合わせください。

農ライフ創生センターのご案内



農ライフ創生センター

● 四郷研修所

〒470-0373
 豊田市四郷町松本105番地1
 電話 (0565) 43-0340
 ファックス (0565) 43-0341
 E-mail: nou-life@city.toyota.aichi.jp

※開所時間：午前8時30分～午後5時15分
 休所日：土・日曜日、祝日、年末年始

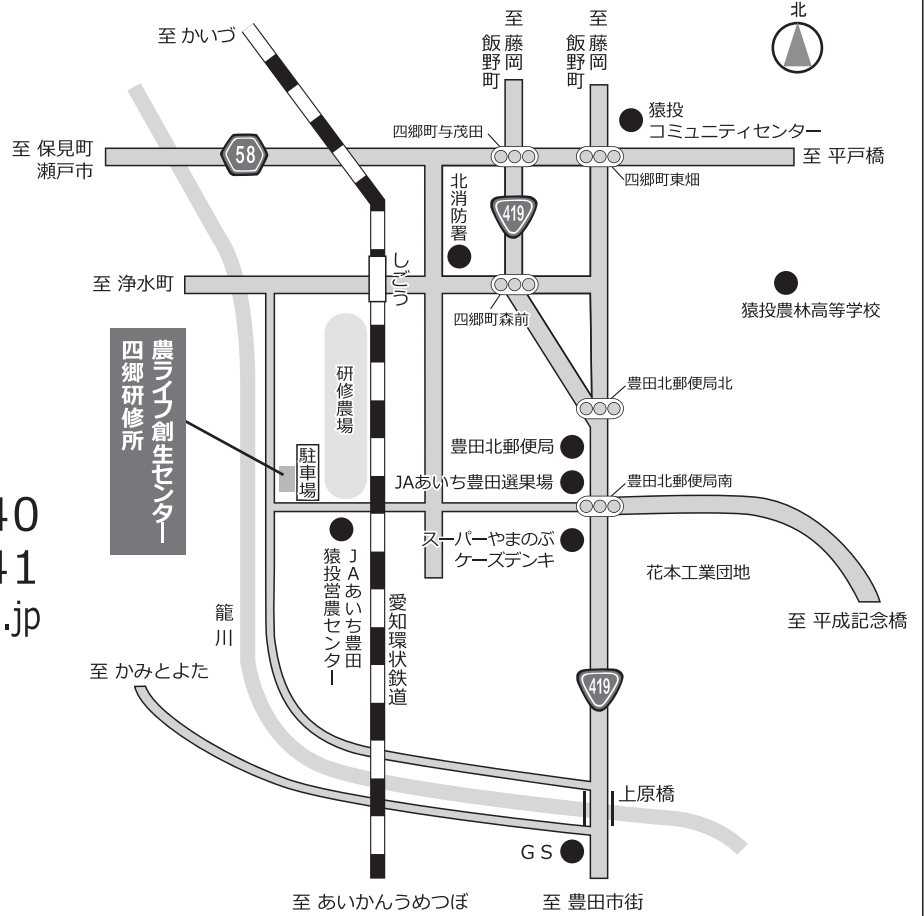
交通機関のご案内

【電車】

名鉄豊田線上豊田駅下車徒歩15分
 愛知環状鉄道四郷駅下車徒歩5分

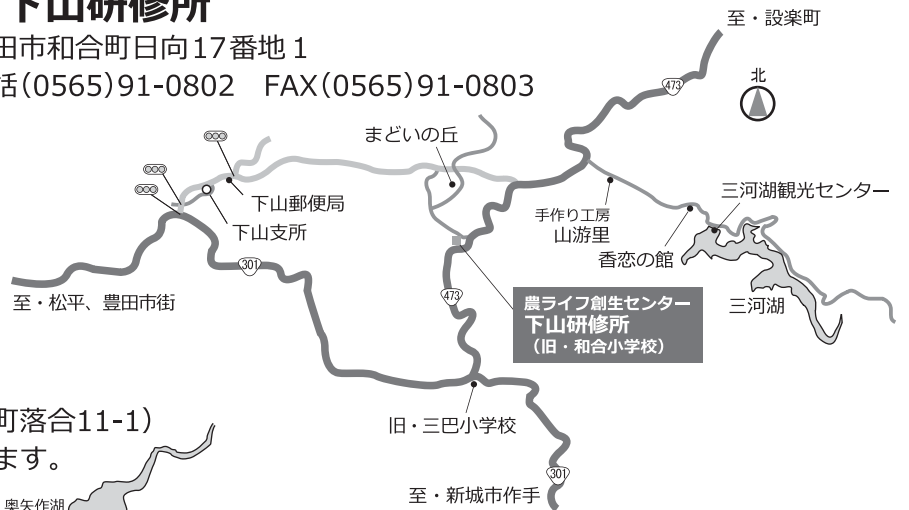
【タクシー】

豊田市中心市街地から約15分



● 下山研修所

豊田市和合町日向17番地1
 電話(0565)91-0802 FAX(0565)91-0803



● 旭研修所

集合場所は、築羽会館前駐車場（榎本町落合11-1）
 ※問合せ等は、四郷研修所へお願いします。



農業系 Youtuber が研修を体験

Youtube「鈴木農園TV」で、農ライフ創生センターの紹介動画が公開されています。ぜひ、ご覧いただき参考にしてください。

※令和5年9月22日アップ